

「希望 (のぞみ)」の学習を通して、様々な人々とともに、積極的に、粘り強く課題解決に取り組む中で、社会において有為な人となるべく自己の向上をはかる子どもの育成を目指します！

「希望 (のぞみ)」の授業

今回は、中間期 (3・4年生) と最終期 (8・9年生) の授業を紹介します。

「希望 (のぞみ)」中間期部会 (3・4年生) 「つなごう『平和の祈り』」

平和記念公園



建物や碑の一つ一つに、平和を願う想いが込められていて、それが分かったよ。

伝えたいことは多いけれど、三年生さんが知りたがること、分りやすいものはどれかなあ。

3年生は、絵本を使って戦争の悲惨さや平和の大切さを学びました。そして、「平和への誓い」の中の言葉から、「小さな平和」について考えました。

4年生は、新聞の切り抜きや物語教材を使って平和について学習を進めてきました。9月には、平和記念資料館・平和記念公園へ行き、自分たちの目で70年前の出来事を見たり、被爆体験記の朗読を聞いたりしました。

3年生と4年生の合同授業では、自分たちが学んできたことをお互いに伝え合い、身近な生活の中で自分たちにできることを一緒に考えていくことにしました。

3年生への発表準備



4年生への発表準備



ここは絵を入れた方が伝わりやすくなるのではないかなあ。

「希望 (のぞみ)」最終期部会 (8・9年生) 「ピース(かけら)&ピース(平和), 夢を志に」

8年生は、来年1月に実施する「わくわくワーク三原」(職場体験学習)に向けて様々な取り組みを行っています。そのひとつが、地域で活躍されている7名の方々を中学校にお招きして、実際に「社会に通用する人」とはどのような人なのかを交流する『わくわく講演会 SKY』です。

9年生は、「希望 (のぞみ)」学習の集大成として、三原市内にある高齢者施設でのふれあい体験を実施しました。

生徒たちは、なりたい自分に近づき、将来社会の一員として活躍できる大人をめざして模索中です。



大講だけで、努力ができていない自分も、自分のかも。

講師の方々の言葉は、とても大切で、僕も続けたいです。

今を回る、初訪、緊張しめ、初め、お流し、おぼわ、慣れ、して、福、わあ、あ、れ、て、い、ま、社、ち、っ、て、い、ま、施。



「研究開発だより」(カラー版)をHPに掲載していますので、併せてご覧ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/fmihara/kenkyu/>